スーパーヘッド用 ＫＥＩＨＩＮ ＰＥ２４
キャブレターキット　取扱説明書

商品番号：０３－０５－０１９４　ビッグボアキャブレターキット（ハイフロータイプ）
：０３－０２－０００１　マニホールドキット

適応車種及びフレーム番号

Ａｐｅ　５０	:ＡＣ１６－１０００００１～１４９９９９９	（当社製スーパーヘッド取付車）
Ａｐｅ１００	:ＨＣ０７－１０００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）
Ａｐｅ１００タイプＤ	:ＨＣ１３－１０００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）
ＸＲ　５０モタード	:ＡＤ１４－１０００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）
ＸＲ１００モタード	:ＨＤ１３－１０００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）
ＸＲ　１００Ｒ	:ＨＥ０３－２１００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）
ＣＲＦ１００Ｆ	:ＨＥ０３－２４００００１～	（当社製スーパーヘッド取付車）

・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎ドラムブレーキ車両の場合、別途ブレーキレバー＆ワイヤーセット（０６－０８－３００１）が必要となります。
◎このキットは、別売りのマッドガードとの併用をお勧めします。
◎このキットは、当社製スーパーヘッド及び当社製ＰＥ２４キャブレターキット装着車両専用です。
ノーマルヘッド車両には使用出来ませんのでご注意下さい。
◎エンジン内部に水分が入り込んだ場合、エンジン不調の原因となりますので、雨天中の走行は出来るだけ避けて下さい。又、洗車時等激しく水の掛かる時は、エアフィルターからエンジン内部に水が侵入しないように十分ご注意下さい。
◎キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象及び車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。
尚、キャブレターのセッティングは、本取扱説明書末尾に記載している状態で出荷しております。
◎このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。（道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。）
◎Ａｐｅ１００：フレーム番号ＨＣ０７－１６００００１～及びＡｐｅタイプＤ：フレーム番号ＨＣ１３－１０００００１～の車両は、ノーマルマフラーとキャブレターが干渉します。フルエキゾーストマフラーの交換している車両が前提となります。
◎Ａｐｅ１００：フレーム番号ＨＣ０７－１６００００１～及びＡｐｅタイプＤ：フレーム番号ＨＣ１３－１０００００１～の車両で、バッテリーを使用する場合、別途バッテリーボックス、マッドガードが必要となります。又、一般公道で使用される場合、フェンダーレスキットが必要となり、ノーマルフェンダーは取り付け出来ません。ご注意下さい。（道路運送車両法の保安基準を充たして下さい。）

⚠ 注意　この内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

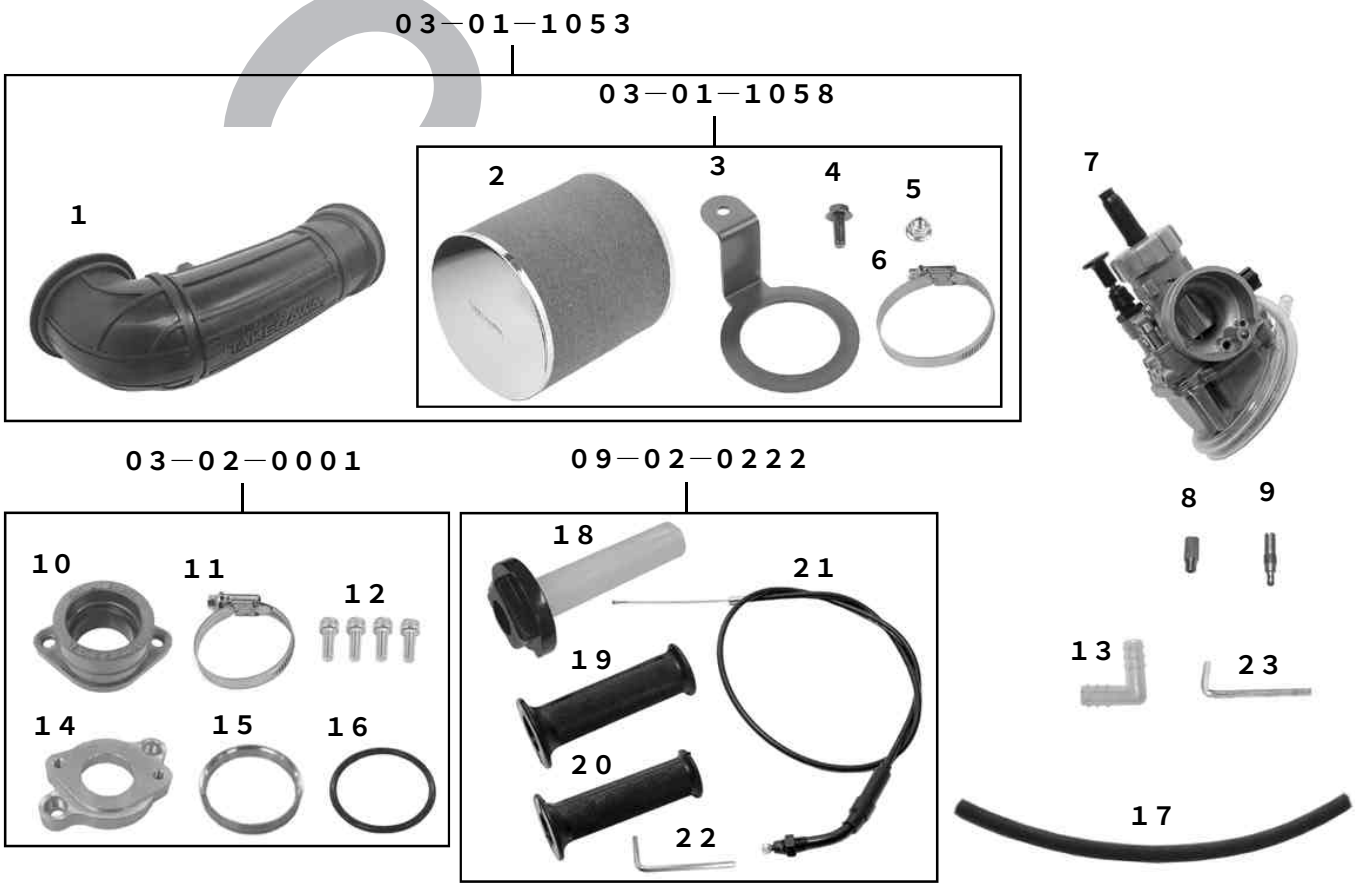
- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

⚠ 警告　この内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～商　品　内　容～



番号	部　品　名	数量	リペア品番	入数
１	コネクティングチューブ	１	１７２５４－ＫＲＬ－Ｔ００	１
２	エアフィルター	１	――――――	
３	エアフィルターステー	１	１７２６０－ＧＥＹ－Ｔ００	１
４	フランジボルト　６×１６	１	００－００－０１３４	４
５	フランジＵナット　６mm	１	００－００－０００９１	６
６	クランプバンド（４０－６０mm）	１	００－００－０００３８	１
７	キャブレターＡＳＳＹ.（ＰＥ２４）	１	０３－０３－０２２	１
８	メインジェット　＃１２０	１	００－０３－００９８	１
９	スロージェット　＃４０	１	００－０３－０１７０	１
※１０	キャブレターインシュレーター	１	００－０３－０２０９	１
※１１	クランプバンド（３０－４５mm）	１	００－００－００５０	１
※１２	ソケットキャップスクリュー　６×１５（ＳＵＳ）	４	００－００－０２０５	４
１３	Ｌジョイント　１０mm	１	００－０３－０２０７	１
※１４	インレットパイプ	１	１７１１０－ＫＴＫ－Ｔ００	１
※１５	カラー	１	１６２１０－ＫＰＥ－Ｔ３０	１
※１６	Ｏリング	１	００－０３－０２０６	１
１７	フュールチューブ　２００mm	１	００－０３－０２０３（５００mm）	１
１８	スロットルＣＯＭＰ.	１	――――――	
１９	右グリップラバー	１	５３１６５－ＳＳＧ－Ｔ００	１
２０	左グリップラバー	１		１
２１	スロットルケーブルＣＯＭＰ.　７１０mm	１	０９－０２－００７１	１
２２	６角棒レンチ　３mm	１	――――――	
２３	６角棒レンチ　５mm	１	――――――	

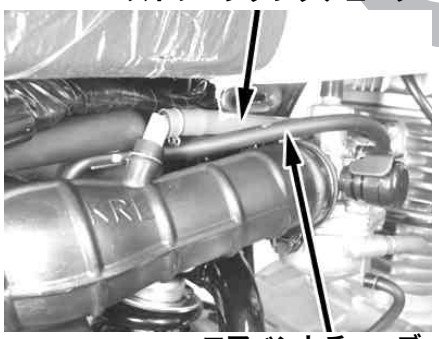
※印は、０３－０２－０００１マニホールドキットを示しています。
∴リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取　り　付　け　要　領～

純正キャブレターの取り外し

１．２本のボルトを取り外し，シートを後方に引いて外します。
２．右サイドカバーのボルトを取り外し、ボス２ヶ所をフレームから外し、右サイドカバーを外します。
３．左サイドカバーのボス３ヶ所をフレームから外し、左サイドカバーを外します。
４．ストレージタンクホースとキャブレターエアベントチューブをエアクリーナケース側から外します。
※ストレージタンクホースはブリーザーチューブジョイントごと外して下さい。

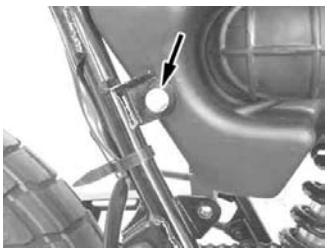
ストレージタンクチューブ

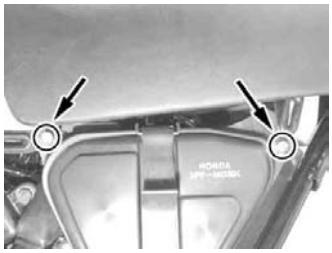


エアベントチューブ

５．コネクティングチューブバンドスクリューを緩めます。

６．ノーマルエアクリーナーケースを止めているケースマウントボルトを左側から２本、右側から１本を取り外します。





Ａｐｅ１００：ＨＣ０７―１６００００１～及びＨＣ１３―１０００００１～の車両で、バッテリーをご使用される場合、バッテリーボックス及び各キットの取り付け要領に従い、バッテリーを取り付けます。

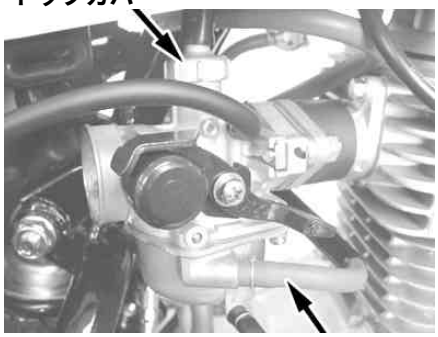
７．コネクティングチューブをキャブレターから外し、エアクリーナケースを取り外します。

８．コネクティングチューブに接着剤を塗布し、エアフィルターとステーの穴位置を合わせ、コネクティングチューブを取り付けます。

※接着面は汚れ、油脂分を取り除き、十分乾燥させた後、ホンダボンドＡまたは相当品を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにエアフィルターを取り付けます。
※接着剤に添付されている仕様説明書に従って使用して下さい。
※エアフィルター取り付け後、接着剤が固まるまで最低２時間は放置して下さい。

９．フューエルコックを閉じます。キャブレターのドレンコックを開きフロートチャンバーからガソリンを受け皿に抜き取ります。
１０．フューエルチューブをキャブレターから外します。キャブレタートップを外し、スロットルバルブをキャブレターから取り外します。スロットルバルブとスロットルケーブルを分離し、トップカバーを抜き取ります。

トップカバー



フューエルチューブ

１１．インレットパイプ固定ボルトを取り外しインレットパイプを取り外します。
※インテークポート内に異物等が入らないよう注意して下さい。

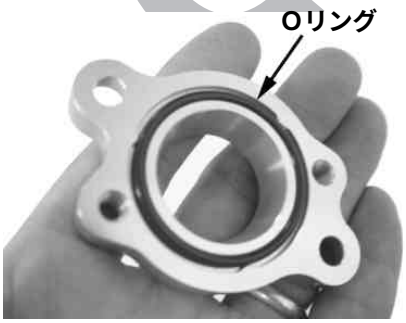
１２．スロットルハウジングのパンスクリューを車両から外します。

COPY

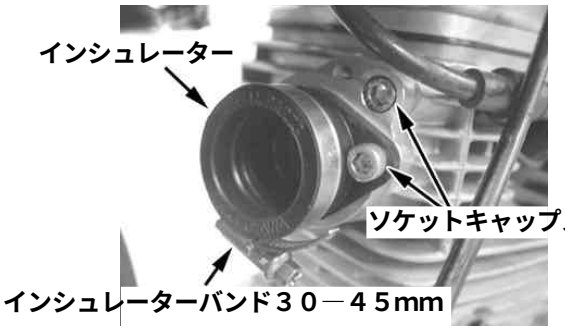
キャブレターの取り付け

１．ＰＥ２４キャブレターのフロートチャンバーを外し、メインジェット及びスロージェットをキット付属の物に交換し、フロートチャンバーを元通りに取り付けます。

２．キット内のインレットパイプ裏側の溝にキット内のＯリングを取り付け、シリンダーヘッドにソケットキャップスクリューを用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。
トルク＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
注意：必ず規定トルクを守る事。

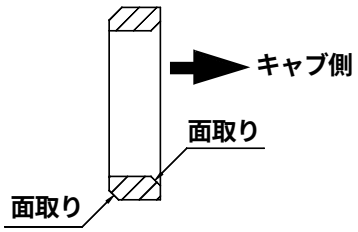


３．取り付けたインレットパイプにキット内のインシュレーターをソケットキャップスクリューを用いて取り付け規定トルクまで締め付けます。
トルク＝１０Ｎ・ｍ（１.０ｋｇｆ・ｍ）
注意：必ず規定トルクを守る事。



４．キャブレターインシュレーターにインシュレーターバンド（３０―４５mm）を取り付けます。

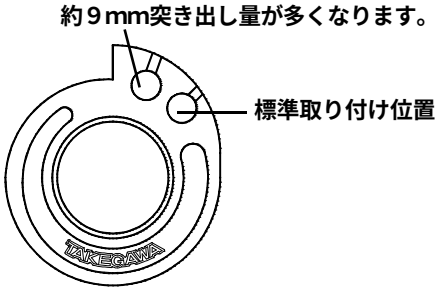
５．キャブレターの口にキット内のカラーを図を参考に取り付けます。
※コネクトチューブを取り付けない場合は、必要ありません。



６．キット内のスロットルハウジングのスクリューを取り外し、ハウジングを分割します。

７．ハンドルのスロットルパイプ摺動部にグリスを塗布し、スロットルパイプを取り付けます。

８．ロワーハウジングにスロットルケーブルを仮締めし、ケーブルエンドをスロットルパイプに接続します。
※ケーブルエンド部分とパイプのケーブル巻き取り部にグリスを塗布して下さい。



９．アッパーハウジングを取り付けスクリューを締め付けます。
トルク：５Ｎ・ｍ（０.５ｋｇｆ・ｍ）
注意：必ず規定トルクを守る事。

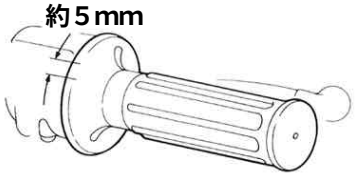
１０．ハンドルとスロットルパイプのグリップ取り付け面と左右グリップラバー内面の汚れや油脂分を取り除きます。
ハンドルとスロットルパイプにホンダ純正ホンダボンドＡ又はセメダインＦ５４０を薄く塗布し、接着面が乾かないうちにグリップを回しながら取り付けます。

１１．キットのキャブレターのトップカバーを外して、スプリング、スロットルバルブを抜き取ります。スロットルケーブルのインナーケーブルをキャブレターのトップカバーから通し、さらにスプリングを通して、スプリングを縮めながらスロットルバルブに取付けます。
スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャレターに取り付けます。

１２．キャブレターをインシュレーターに差し込み、クランプバンドを締め付けます。

１３．スロットルケーブルロックナットを締め付けます。
トルク：８Ｎ・ｍ（０.８ｋｇｆ・ｍ）
注意：必ず規定トルクを守る事。
※必要以上に締め付けた場合、ハウジングが破損する場合がありますのでご注意下さい。

１４．スロットルグリップ部で５mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整します。



１５．スロットルを数回スナップさせ引っかかりやスロットルバルブの全開状態を確認します。ステアリングを左右いっぱいに切った状態でもスロットルに遊びがあることを確認して下さい。

１６．フューエルチューブを差し込み、チューブクリップで止めます。

エアフィルター及びコネクトチューブの取り付け

1．コネクティングチューブにクランプバンド（４０－６０mm）を通し、キャブレターに取り付けクランプバンドを締め付けます。

2．フランジボルト６×１６、フランジUナットでエアフィルターステーをフレーム右側のエアクリーナーケース取り付け穴に固定します。
トルク：１２N・m（１.２ｋｇｆ・m）
注意：必ず規定トルクを守る事

3．コネクティングチューブにストレージタンクホースを取り付け、チューブクリップを取り付けます。
※エアベントチューブは走行に支障の無いようにまとめて下さい。
※ＸＲ１００R、ＣＲＦ１００Fに使用される場合は、キット同梱のＬジョイントを用いて取り付けて下さい。

4．左右サイドカバー、シートを取り付けます。
フューエルコックを開き各部からのガソリン漏れの有無を確認します。（コックを開いたまま長時間放置しないで下さい。）

5．チョークレバーを引きエンジンを始動させます。チョークレバーを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転を行いチョークレバーを完全に戻します。エンジン暖気後アイドリングしない場合や、アイドリング回転数が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。

6．安全な場所で十分注意し、個々の車体に合ったセッティングを行って下さい。

～メ　ン　テ　ナ　ン　ス　要　領～

キットに含まれるハイフローフィルターは、容易にメンテナンスをすることが出来ます。エレメントが汚れた場合は、下記手順によりメンテナンスを行って下さい。
（市販のフィルタークリーナーやフィルターオイルといったケミカル類は使用しないで下さい。使用された場合、エレメントが劣化する可能性があります。）

1．車両より取り外し、エレメント表面に付いた大きな塵等を取り除きます。
2．市販の中性洗剤を薄めた洗浄液を作り、フィルターを洗浄液に浸し、エレメントを洗浄します。
（この時エレメントを硬いブラシでこすったり、強くエレメントを揉んだりしないで下さい。エレメントが痛みます。）
3．水道水等の流水で、エレメントの内側から水を注ぎ込み、エレメントの洗浄液をよくすすぎます。
4．洗浄液をすすぎ終わったら、エレメントを乾かします。
ウエス等でエレメントの水気を押さえるように拭き取り、風通しの良い日陰で自然乾燥させて下さい。
もし圧縮空気を用いる場合は、内側から弱い圧力で水気を吹き飛ばして下さい。

キャブレターの初期出荷状態

メインジェット	＃１０８
スロージェット	＃４８
ジェットニードル	３６Ｓ
クリップポジション	３段目
スロットルバルブカッターウェイ	＃３．０
エアスクリューオープニング	１－１／２

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
ＴＥＬ　０７２１－２５－１３５７
ＦＡＸ　０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
ＵＲＬ　http://www.takegawa.co.jp

キャブレターセッティング要領

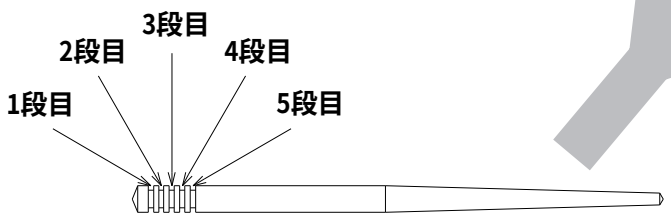
・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの２つの原因に絞られます。
・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。（黒い） ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。（息付きをおこす） ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル （スロットル開度１／４－３／４）

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか
・息付きをする場合、濃くして下さい。
・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。
この開度での混合比は、Ｅリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Ｅリング位置が１段目から５段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット （スロットル開度３／４－４／４）

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。
仕様等を考慮の上、最高回転数（最高速度）の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット （調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。）

・エアスクリューの戻し量３.０回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。（アイドル回転時）
・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。（アイドル回転時）
・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

○エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。（アイドリング時）
・エアスクリューを右に回す→混合気が濃くなる。
・エアスクリューを左に回す→混合気が薄くなる。
標準戻し回転数（１.５回転）に合わせ、左右に１／４－１／２回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。
アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９ 大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７ FAX ０７２１－２４－５０５９ URL http://www.takegawa.co.jp
お問い合わせ専用ダイヤル ０７２１－２５－８８５７

Aug./20/ 09

COPY